

◇国際会議報告◇

**CMAC-GPF 合同会議
(2025 年 6 月) 出席報告**

SMBC 日興証券株式会社

株式調査部 Managing Director シニアアナリスト 大瀧 晃栄

公益社団法人日本証券アナリスト協会

企業会計第 2 部長 兼 国際第 2 部長 土谷 敬

(報告者：土谷 敬)

1. はじめに

2025 年 6 月 12 日及び 13 日、世界作成者フォーラム（Global Preparers Forum、以下「GPF」という。）と資本市場諮問委員会（Capital Market Advisory Committee、以下「CMAC」という。）の合同会議が、ロンドンでの対面とオンラインを併用したハイブリッド形式で開催された。GPF は財務諸表作成者の代表者、CMAC は財務諸表利用者の代表者から公正される会議体であり、合同会議は、作成者及び利用者双方の立場から IASB に対して定期的にインプットすることを目的としている。

日本からは、GPF メンバーである坂口和宏氏（富士通(株)財務経理本部 Finance CoE 統括部長）と CMAC メンバーの筆者が対面で参加し、CMAC メンバーの大瀧晃栄氏はオンラインで参加した。

2. 全体のスケジュール

2025 年 6 月の会議における議事一覧は、下表のとおりである。Agenda 番号 2～5 については、GPF 及び CMAC の両メンバーが 4 つの分科会に分かれて議論を行い、その後、各分科会からの報告をもとに再度全体で議論が行われた。

予定時間（ロンドン時間）	Agenda 番号	議事
6 月 12 日		
9：45-10：15	1a	IASB の活動報告
10：15-12：10	2	IFRS 開示の構造化（Structuring IFRS Disclosures）
13：10-17：00	3	キャッシュ・フロー計算書及び関連事項
17：00-17：30	1B	ISSB の活動報告
6 月 13 日		
8：30-10：40	4	企業結合－開示、のれん及び減損
10：50-12：05	5	持分法
12：05-13：20	6a, 6b	第 4 次アジェンダ協議

本稿では、会議で議論された主な内容について説明する。詳細な議事概要については、IFRS 財団ホームページに掲載されている Meeting Summaryⁱを参照されたい。

3. 議事概要

(1) IFRS 開示の構造化 (Structuring IFRS Disclosures) (AP2)

本セッションの目的は、構造化された開示 (structured disclosures) の有用性とコストについて、特定の種類や特性を持つ開示が構造化されることでより有用となるかどうかなど、両メンバーの意見を収集することであった。構造化された開示とは、開示された情報と他の開示項目との関係を、利用者が明確に識別し理解できるような形で提供される開示を指す (例: 調整表、表形式)。

両メンバーは、構造化された開示が比較可能性、理解可能性及び信頼性を高める一方で、情報の入手が困難な場合には作成コストとのバランスが課題となることを指摘した。CMAC メンバーは、財務諸表内での用語の一貫性、調整表の有用性・信頼性、基本財務諸表と注記や経営者による説明とのつながりの重要性を強調した。GPF メンバーは、既存情報の構造化は比較的容易である一方、新たな情報の追加にはコストがかかること、構造化の厳格な適用がかえって情報の有用性を損なう可能性があること、また、進化する市場の要求に応えるため市場全体として開示の質向上が求められていることを指摘した。

今後、両メンバーからのフィードバックをもとに、IASB 及び ISSB の基準設定を支援するための内部指針 (internal guidance) が策定される予定である。

(2) キャッシュ・フロー計算書及び関連事項 (AP3)

本セッションでは、次の3つのトピックについて議論が行われた。

① 運転資本の構成に関する透明性の向上

企業独自の定義による開示アプローチと、指定項目に基づく開示アプローチの2案が提示された。多くのメンバーは、運転資本の定義は、業種や企業によって、また、同一企業であっても時点により異なることから、企業独自の定義による開示アプローチを支持した。一方、一部の CMAC メンバーは、棚卸資産、売掛金、買掛金など最低限の項目は指定すべきと述べた。また、運転資本の定義や構成の変化、財務諸表とのつながりについて説明が必要であると述べた。

② 運転資本の帳簿価額の変動に関するより良い情報の提供

棚卸資産、売掛金、買掛金などの運転資本の項目について、期首から期末までの帳簿価額の変動を調整表で示す方法が提示された。CMAC メンバーは、財務諸表間のつながりが

可能になる点を評価した。一方、多くの GPF メンバーは、棚卸資産や直接法によるキャッシュ・フロー情報の作成に高いコストがかかることを懸念した。一部のメンバーは、完全な調整表の提供と作成負担のバランスを取る中間的な方法の検討が必要であると述べた。

③ MPM アプローチのキャッシュ・フロー指標への適用

大半のメンバーは、IFRS 第 18 号「財務諸表における表示及び開示」の MPM（経営者が定義した業績指標）と同様アプローチをキャッシュ・フロー指標にも適用し、特にフリー・キャッシュ・フローを開示すべきと述べた。また、MPM の開示要件はキャッシュ・フロー指標にも有効であると評価した。CMAC メンバーは、調整表及び関連する説明の有用性を強調し、GPF メンバーは、キャッシュ・フロー指標に関する情報は財務諸表外で既に報告しているが、より詳細な調整表の開示には課題があると述べた。

(3) 企業結合－開示、のれん及び減損 (AP4)

本セッションでは、次の 3 つのトピックについて議論が行われた。

① 反証可能な推定アプローチ

反証可能な推定アプローチについて、多くのメンバーは、業績情報の開示対象となる企業結合を識別する際に、厳密な閾値設定の必要性を軽減し、不適切な開示を避けられる点で有益と評価した。一方で、多くの GPF メンバーは、判断の主観性が高まることで、監査人との緊張やコストの増加、実務のばらつきにつながる懸念を示した。提案された原則には、「取得目的の未達が企業戦略の失敗につながる場合」と「成功が企業戦略の達成に不可欠な場合」があり、大半のメンバーは、いずれも有効と評価した。反証の事実と理由については、大半のメンバーが開示すべきと述べた。

② 営業利益の閾値

営業利益の閾値について、一部のメンバーは、これを除外すると資産集約型企业による高利益企業の買収が対象外に可能性があることから、維持を支持した。また、反証可能な推定アプローチとの併用が有効であるとの意見もあった。さらに、平均値や調整後利益を用いた閾値の調整方法についても議論された。

③ その他の論点

定量的閾値について、一部の GPF メンバーは、公開草案で提案された 10%から 15～20%への引き上げを提案した。また、多くの CMAC メンバーは、単一の目的のもとで行われた一連の企業結合も開示対象に含めるべきと述べたが、大半のメンバーは、実務的な対応は困難であると指摘した。

(4) 持分法 (AP5)

本セッションでは、関連会社及び共同支配企業に対する追加の所有持分の購入時に、持分法をどのように適用すべきかについて、両メンバーの意見が求められた。

大半のメンバーは、追加購入の都度、関連会社の純資産の公正価値を測定することは、コストと複雑性が高いと述べた。GPF メンバーは、特に少額又は頻繁な購入ではコストが便益を上回ると指摘した。一部のメンバーは、IASB が公開草案の提案を維持するのであれば、追加購入が重要性を欠く場合や短期間に複数回行われる場合には、公正価値の測定を免除すべきと提案した。また、重要性の判断は、関連会社の損益に対する投資者の持分への影響に基づいて行うべきという提案も示された。

(5) 第4次アジェンダ協議 (AP6)

本セッションでは、IASB が今後検討すべきプロジェクト候補の整理に向け、両メンバーの意見が求められた。

一部の CMAC 及び GPF メンバーは、近年、より多くの経済が超インフレに直面していることから、超インフレ会計に関するプロジェクトの優先化を支持した。また、排出権取引制度の拡大に伴い、排出物価格設定メカニズム (PPM) の検討も重要な課題として挙げられた。一部の CMAC メンバーは、競争環境や業界動向の理解のため、セグメント別のキャッシュ・フローを含むより詳細な情報の開示が必要であるとして、IFRS 第8号「事業セグメント」の見直しを優先課題とした。また、暗号資産については、企業による取得の増加や規制当局の懸念、報告の比較可能性の欠如が指摘され、米国財務会計基準審議会 (FASB) との連携も含めた対応が提案された。さらに、関連当事者に関する開示の不十分さについても懸念が示され、循環持株構造や、顧客となるスタートアップ企業への投資など、新たな関係性への対応が求められた。

(2) ~ (5) の各セッションにおける両メンバーからのフィードバックは、今後のIASB の審議において考慮される予定である。

4. 次回の予定

次回の GPF 会議は 2025 年 11 月 14 日、CMAC 会議は同年 11 月 7 日にそれぞれ開催される予定である。

ⁱ IFRS 財団ホームページ

<https://www.ifrs.org/content/dam/ifrs/meetings/2025/june/cmac-gpf/meeting-summary.pdf> 参照